

一期一絵・・・

SILKLAND

gallery news & communication

No.120

ギャラリー通信

Nov 2018

<http://www.silkland.co.jp>



水墨
2018
空

11.18(日)~12.1(土) ※最終日は午後5時まで

11.18 pm 5:00~アーティスト・トーク&オープニング・レセプション

ごあいさつ

「墨」一色で表現される絵画ではあるが、それ故に長きに渡り観る者の心を強く惹きつけ続ける水墨画。今展で第5回目となる「水墨玄空2018」では墨に対して各々独自の解釈を持つ5人の作家の新作をご紹介します。また今回は『間』（マ）という概念をテーマとした作品も各作家が出品し、共通の主題から其々の方向に導き出される技法や信念の対比もお楽しみいただけます。この機会にぜひご高覧下さい。

2018年11月

シルクランド画廊



中野 嘉之

なかの・よしゆき
1946年京都生まれ。84年「横の会」結成（～93年）。2005年芸術選奨文部科学大臣賞受賞。2006年第15回MOA岡田茂吉賞大賞受賞。現在、多摩美術大学日本画名誉教授。

墨の素材を意識した時、正に「玄」は的を射た文字である。（心理的には微妙な道）、（はるか遠いこと）その意味を再確認したい。天空を、白い花を、宣紙の紙の肌に託し、物を感じ取り、宣紙独特の滲みをこの筆先でどう活かすか、その技が具象でもあり、抽象とも言える微妙な墨色を美しく解き放ってくれることを願っている。



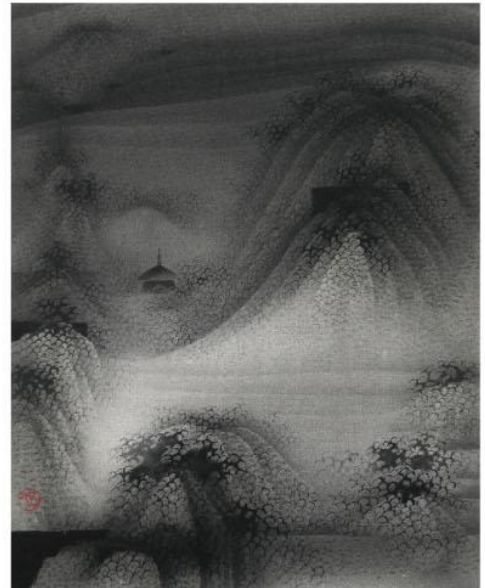
《蓮》P20



《天光山水》86×56cm 宣紙

「間」とは、天地の間に不滅の存在である山・水。「天地宇宙間の一切の現象は、すべて簡単なものから複雑なものへ発展する。一切の文化もまたすべて単純なものから複雑なものへと発展する」。私の水墨作品は、その複雑な大千世界において単純、且つ自らが思う「美しい」ものを追求し、自分なりの創造世界を展開させています。

※大千世界…仏教の世界観における途方もない全宇宙のこと。



《天光山水》43.5×34.5cm 棉布

呉 一騏

ごいっき
1956年中国上海生まれ。95、96年香港アジア国際芸術博覧会。98、99、00年「演繹空間・水墨藝術展」K美術館。09年 富山県水墨美術館・練馬区立美術館「水墨表現の現在地点2」。14年「山水」沼津市庄司美術館ほか。





《朝霧》28x47cm(白麻紙、松煙墨、胡粉)



《晨光》47.5×25.5cm(白麻紙、松煙墨、胡粉)



大竹 卓

おおたけ・すぐる
1958年中国上海生まれ。93年武蔵野美術大学卒。
96年筑波大学大学院修士課程修了。2000年個展
(茨城県五浦天心記念美術館)。18年個展(中国文
化センター/東京)。現在、東京藝術大学大学院
保存修復日本画研究室非常勤講師、敦煌研究院
美術研究所客員研究員、創画会会友。

「間」とは、東洋絵画における非西洋的な空間構成である。多くの古典の名作がそのことを語ってくれている。「線」もまた東洋絵画において重要だが、「間」の思想は、時に、それ以上に東洋絵画の根源性に迫り、その意義は大きい。墨をメディアとして、明暗法で描かれたものを果たして墨絵と言えるのかどうかは、そのことに深く関わっていると私は考える。現代、ほとんどの作家は西洋デッサンの環境から育ち、骨身まで馴染んでいる。「間」の考えには、容易に辿り着けないのが実情なのである。



《竹む風景》12号変形 紙本



《雨の街》8号変形 絹本

ただの黒色でなく、またただの白色ではないモノトーンの幅の中に湿度や質をも含ませた色合いを感じさせたい。そんな思いが通じるような画面になればと紙本、絹本という支持体との“間”を描きわけながら画面の中に一静かな佇まいを滲ませる事が出来る様心がけ制作しました。

小松 謙一

こまつ・けんいち
1959年福島県いわき市生まれ。83年福島県美術展美術奨励賞受賞。97年神奈川県美術展特選。東京・福島にて個展多数。





《御三戸嶽》80.5×58cm



《巖穴》100×70cm



藤井 美加子

ふじい・みかこ
1965年広島市生まれ。90年多摩美術大学
大学院美術研究科修了。94年春季創画展
春季展賞受賞。95年文化庁芸術インター
ンシップ研究員。2002年菅盾彦大賞展。
12年「風景画展」(佐藤美術館)。他、個
展、グループ展多数

「間」を、時間を切り取った後に続く「余韻」と捉え、「巖穴」を描きました。情景の彩りや風、気配までも表現すべく、薄墨を何度も重ねていく作業は、まるで風景の中に己を浸していく様な感覚を覚えます。柔らかな和紙が、空となり、険しい岩肌となり、墨が深い森や水になる。和紙と水と墨によって、形では表せない情緒や余情が、余韻として作品に描き留められていたとしたら幸いです。

Information 展覧会情報



ジャーシャン・ペイ 《時の語らい》F15

12/2～8 常設展

シルクランド画廊が取り扱う精鋭作家の作品を紹介致します。



江 屹 《芬芳》32.5×40cm

12/9～22 江 屹展

静物や自然の草花、過去と未来が織成す空間などを岩絵具や墨で描く江屹のシルクランド画廊における個展を開催。

シルクランド画廊 開廊時間：11:00→19:30(土・日・祝日は18:30まで)

〒104-0061 東京都中央区銀座 6-5-11 第15丸源ビル1階

Tel 03-5568-4356 Fax 03-5568-4357

http://www.silkland.co.jp e-mail gallery@silkland.co.jp

アクセス ■ 地下鉄丸の内線、銀座線、日比谷線「銀座駅」B7,C2出口 徒歩2分 ■ JR「新橋駅」銀座出口 徒歩6分

